

8:00~9:00 60分		理事会		
9:15~12:15 180分 一般報告セッション		A会場 一般報告 Covid19と行動経済学 座長 佐々木周作/東北学院大学	B会場 一般報告 実験経済学 座長 竹内幹/一橋大学	C会場 一般報告 ファイナンスと金融行動 座長 高橋秀徳/名古屋大学
9:15~10:00	報告題名	Puzzling Success Story of COVID-19 in Japan: Elementary School Education and Ritual Purification of Hands at Shrines	Watching and being watched effects on human interaction: Evidence from a trust game	呼値変更: 市場間競争と流動性供給者へのインパクト
	報告者	李嬋娟 (明治学院大学) 【奨】	八下田聖峰 (東京大学大学院) 【奨】	戸辺玲子 (二松学舎大学)
	討論者	近藤尚己 (京都大学大学院医学研究科)	篠田太郎 (早稲田大学大学院)	水田孝信 (スパークスアセットマネジメント)
10:00~10:45	報告題名	Time-varying risk attitude and behavioral asset pricing	Which improves efficiency, changing or monitoring messages in the continuous-time cheap talk? -Experimental Evidence-	The Key to Succeed in FX Margin Trading: The Role of Investment Strategy and Behavioural Biases
	報告者	早木祥夏 (神戸大学大学院) 【奨】	禿寿 (大阪府立大学大学院) 【奨】	岩壺健太郎 (神戸大学)
	討論者	三浦貴弘 (パーソルキャリア株式会社)	段杰一 (大阪大学)	岡田克彦 (関西学院大学)
10:45~11:30	報告題名	How COVID-19 affects corporate investment plans in the US and Japan	Unstructured Bargaining Experiment on Three-person Cooperative Games	グリット (やり抜く力) と家計の金融資産蓄積の関係
	報告者	山崎尚志 (神戸大学)	篠田太郎 (早稲田大学大学院) 【奨】	末廣徹 (法政大学大学院) 【奨】
	討論者	岩澤誠一郎 (名古屋商科大学)	竹内幹 (一橋大学)	俊野雅司 (成蹊大学)
11:30~12:15	報告題名		The Intrinsic Value of Decision Rights and Reciprocity	パーソナリティ特性と個人収入・個人金融資産の関連の性差と年齢層差: 日英大規模データの比較から
	報告者		長塚昌生 (大阪学院大学) 【奨】	高橋雄介 (京都大学) 【奨】
	討論者		花木伸行 (大阪大学)	池田新介 (関西学院大学)
13:00~14:00 60分		学部生ポスター報告者奨励賞候補 フラッシュトーク 座長:山根承子(株式会社パパラカ研究所)		
14:20~15:50 90分	テーマ	行動ファイナンス	行動経済学とマーケティング	
	座長	岡田克彦/関西学院大学 高橋秀徳/名古屋大学	星野崇宏/慶應義塾大学	
特別セッション		羽室行信 (関西学院大学) 「機械学習はファイナンス理論にどう貢献できるか?」	加藤諒 (神戸大学) 「タイムプレッシャーと現在地への親近性がインセンティブへの反応に与える効果: 大規模RCTによるモバイル広告データを用いて」	
			中野暁 (関インテージ) 「部分強化スケジュールを用いた報酬の効果の改善: 調査回答行動への応用」	
16:00~17:30 90分		パネルディスカッション 「行動経済学から新型コロナを考える」		
		司会:大竹文雄(大阪大学) 登壇者: 大竹文雄(大阪大学) 筒井義郎(京都文教大学) 山村英司(西南学院大学) 山本勲(慶應義塾大学)		
17:40~18:10 30分		総会		
18:20~18:50 30分		学部生ポスター奨励賞選考委員会		